

# アレルギー除去食に関する診断書

提出日 年 月 日

情報提供先		嘱託医	
患者氏名	男・女 年 月 日生( 歳 か月) 組		
患者住所	電話番号		
傷病名	その他傷病名		
病状、既往歴、治療状況等	日常生活に必要な医療的ケアの状況(使用中の医療機器等の状況を含む)		
緊急連絡先	★保護者 電話:	★連絡医療機関 医療機関名:	電話:

本児は診察・検査の結果、保育園・幼稚園において、

(A) 食物の除去は不要 (B) 以下の食物については食事からの除去が必要

※ 保育所(園)・幼稚園においては、生卵を食べる事はないので、生卵のみの除去の場合は(A)に○印をつける。

給食・離乳食について管理が必要な場合は「病型・治療」のC欄、「保育所での生活上の留意点」のC欄、アレルギー食品リストと摂取指導票を参照。

病型・治療																																																	
食物アレルギー(あり・なし)・アナフィラキシー(あり・なし)																																																	
<b>A. 食物アレルギー病型</b> 1. 食物アレルギーの関与する乳児アトピー性皮膚炎 2. 即時型 3. その他(新生児乳児消化管症状・口腔アレルギー症候群 その他: )	<b>B. アナフィラキシー病型</b> 1. 食物(原因: ) 2. その他(医薬品・ラテックスアレルギー その他: )																																																
<b>C. 原因食物</b> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">原因食物</th> <th style="width: 30%;">除去根拠</th> <th style="width: 30%;">症状</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1. 鶏卵</td><td>《 》</td><td>《 》</td></tr> <tr><td>2. 牛乳・乳製品</td><td>《 》</td><td>《 》</td></tr> <tr><td>3. 小麦</td><td>《 》</td><td>《 》</td></tr> <tr><td>4. ソバ</td><td>《 》</td><td>《 》</td></tr> <tr><td>5. ピーナッツ</td><td>《 》</td><td>《 》</td></tr> <tr><td>6. 大豆</td><td>《 》</td><td>《 》</td></tr> <tr><td>7. ゴマ</td><td>《 》</td><td>《 》</td></tr> <tr><td>8. ナッツ類</td><td>《 》</td><td>《 》</td></tr> <tr><td>9. 甲殻類</td><td>《 》</td><td>《 》</td></tr> <tr><td>10. 軟体類・貝類</td><td>《 》</td><td>《 》</td></tr> <tr><td>11. 魚卵</td><td>《 》</td><td>《 》</td></tr> <tr><td>12. 魚類</td><td>《 》</td><td>《 》</td></tr> <tr><td>13. 肉類</td><td>《 》</td><td>《 》</td></tr> <tr><td>14. 果物類</td><td>《 》</td><td>《 》</td></tr> <tr><td>15. その他( )</td><td>《 》</td><td>《 》</td></tr> </tbody> </table>	原因食物	除去根拠	症状	1. 鶏卵	《 》	《 》	2. 牛乳・乳製品	《 》	《 》	3. 小麦	《 》	《 》	4. ソバ	《 》	《 》	5. ピーナッツ	《 》	《 》	6. 大豆	《 》	《 》	7. ゴマ	《 》	《 》	8. ナッツ類	《 》	《 》	9. 甲殻類	《 》	《 》	10. 軟体類・貝類	《 》	《 》	11. 魚卵	《 》	《 》	12. 魚類	《 》	《 》	13. 肉類	《 》	《 》	14. 果物類	《 》	《 》	15. その他( )	《 》	《 》	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <b>【除去根拠】</b> 該当するものを《 》内に番号を記載                      ① 明らかな症状の既往      ② 食物負荷試験陽性                      ③ IgE抗体等検査結果陽性                      (CAP-RAST)                 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <b>【症状】</b> 該当するものを《 》内に番号を記載                      即時型反応: ① ショック      ② 咳き込み                                       ③ 呼吸困難      ④ 嘔吐・腹痛                                       ⑤ 顔面紅潮      ⑥ 蕁麻疹                                       ⑦ 掻痒感                      非即時型反応: ⑧ 湿疹      ⑨ 掻痒感      ⑩ 下痢                      そ の 他: ⑪ 未摂取のため不明                 </div>
原因食物	除去根拠	症状																																															
1. 鶏卵	《 》	《 》																																															
2. 牛乳・乳製品	《 》	《 》																																															
3. 小麦	《 》	《 》																																															
4. ソバ	《 》	《 》																																															
5. ピーナッツ	《 》	《 》																																															
6. 大豆	《 》	《 》																																															
7. ゴマ	《 》	《 》																																															
8. ナッツ類	《 》	《 》																																															
9. 甲殻類	《 》	《 》																																															
10. 軟体類・貝類	《 》	《 》																																															
11. 魚卵	《 》	《 》																																															
12. 魚類	《 》	《 》																																															
13. 肉類	《 》	《 》																																															
14. 果物類	《 》	《 》																																															
15. その他( )	《 》	《 》																																															
<b>D. 緊急時に備えた処方薬</b> 1. 内服薬等: 抗ヒスタミン薬( )、ステロイド薬( ) アドレナリン自己注射薬「エピペン®0.15mg」、その他( ) 2. 保管方法: 室温・冷蔵庫・遮光・その他( ) 3. 剤型: 粉・液(シロップ)・塗り薬・点眼薬・その他( ) 4. 使用するタイミング※具体的に記載例) かゆい時、咳がとまらない時など ( ) 5. その他注意事項( )																																																	
保育所での生活上の留意点																																																	
給食・離乳食の管理(必要・不要)																																																	
<b>A. アレルギー用調整粉乳</b> 1. 不要      2. 必要 ※ 下部該当ミルクに○、又は( )内に記入 シワイ-IP ・ ニュ-MA-1 ・ MA-mi ・ ベブデイェット ・ エルメンタルフォーミュラ その他( )	<b>B. 食物・食材を扱う活動</b> 1. 管理不要 2. 原因食材を教材とする活動の制限( ) 3. 調理活動時の制限( ) 4. その他( )																																																
<b>C. 特記事項等</b> (その他に特別な配慮や管理が必要な事項がある場合には、医師が保護者と相談のうえ記載。対応内容は保育所が保護者と相談のうえ決定)																																																	

本診断書の内容については、およそ( 6 , 12 )か月後に再評価が必要です。

年 月 日

医院名

電話番号

医師名

印

※ 自筆の場合押印不要

# アレルギー食品リストと摂取指導票

要除去・・・× 摂取可・・・○ 一部摂取可・・・△(食品名に摂取可には○、不可は×つける。)

※本欄に×がついた場合、該当する食品を使用した料理については、給食対応が困難となる場合があります。

	抗原の強さ	食品名	可否
卵	最も強い	生卵を使用：ミルクセーキ、あわゆき	
	強い	卵料理、生や半熟で使用：アイスクリーム、マヨネーズ、半熟ゆで卵、カスタードクリーム、プリン、茶わん蒸し	
	やや強い	卵白つなぎ加工品：竹輪、かまぼこ、はんぺん、ハム、ウインナー、ハンバーグ 卵を多く使った菓子：カステラ、丸ボーロ、ケーキ、メロンパン、どらやき、卵ボーロ	
	弱い	てんぷら粉、てんぷら衣、卵つなぎの麺、食パン、クッキー	
		固ゆで卵黄	

	抗原の強さ	食品名	可否
牛乳	最も強い	牛乳、生クリーム、スキムミルク(脱脂乳)、練乳	
	強い	牛乳を生で使用するもの：アイスクリーム、プリン、コーヒー牛乳、ミルクココア、粉ミルク、チーズ、ヨーグルト、乳酸菌飲料	
	やや強い	牛乳料理：シチュー、グラタン 牛乳を多く使った菓子：ケーキ、チョコレート カゼインなど乳つなぎ加工品：ハム、ソーセージ、ウインナー	
	弱い	食パン、焼き菓子(ビスケット、クッキー)、バター、乳入りマーガリン	
	微量混入	乳糖を含む食品	

	抗原の強さ	食品名	可否
小麦	最も強い	食パン・パン類、パスタ(スパゲッティ、マカロニ、ペンネなど) うどん、ラーメン、中華めん、麩、小麦グルテンを含む食品	
	強い	小麦粉を使った菓子、加工品(成形肉、練り製品)、ルウ	
	弱い	大麦、ライ麦パン、オートミール、麦芽	
	微量混入	しょうゆ、みそ、酢、麦茶	

	抗原の強さ	食品名	可否
大豆・豆類	最も強い	きなこ、大豆、高野豆腐、枝豆	
	強い	豆腐、豆乳、おから、油あげ	
	やや強い	納豆	
	弱い	みそ、しょうゆ、もやし 他の豆類(小豆、グリーンピース、ソラマメ)	

	食品名	可否
大豆油	大豆油、揚げ物 マーガリン、ルウ	

	食品名	可否
魚卵	生：イクラ、タラコ 加熱魚卵(ししゃもの卵など)	

	抗原の強さ	食品名	可否
魚類	強い	マグロ、白身魚、青魚、赤魚(あかうお)	
	やや強い	干物：じゃこ、いりこ 缶詰：シーチキン、サケ、サンマ	
	弱い	煮だし(カツオ、いりこ)	

	食品名	可否
その他魚介類	エビ、カニ、イカ、タコ 干しエビ 貝：アサリ、ホタテ、シジミ、カキ 魚介エキス	

	食品名	可否
種実・ナッツ類	ピーナッツ、ピーナッツバター	
	アーモンド、くるみ、カシューナッツ、ピスタチオ	
	カカオ、ココア、ココナッツ	
	ごまペースト、すりゴマ	
	粒ごま少量、ごま油	

	食品名	可否
そば	そば粉、そば粉入り食品	

	食品名	可否
果物		

	食品名	可否
肉類	牛肉	
	鶏肉	
	豚肉	

	食品名	可否
その他		

●保育所における日常の取組み及び緊急時の対応に活用するため、本表に記載された内容を保育所の職員及び消防機関・医療機関等と共有することに同意しますか。

- ・同意する
- ・同意しない

保護者署名： \_\_\_\_\_